

学校だより

令和3年11月29日

しいの実

第22号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 鈴峰中学校区特別支援学級交流会

18日(木)に鈴峰中学校・深伊沢小学校・庄内小学校・椿小学校・鈴西小学校の特別支援学級の児童生徒が鈴峰中学校の体育館に集まり、交流会を実施しました。

昨年度から、コロナ渦のため、市全体の特別支援学級児童生徒の運動会や送る会が中止される中、中学校区とはいえ久しぶりの交流会でした。

ドッジボール・卓球・バドミントンを通して中学生と小学生、また小学生同士が親睦を深めることができました。



■ 食に関する教育(食育)

学校では、栄養教諭による食育指導が行われています。栄養教諭は全校配置ではないので、本校の場合は、神戸小学校の佐々木先生に兼務していただいています。二学期、すべての学年でバランスよく食べるということについてなどを指導していただきました。

それとは別に鈴鹿市教育委員会に外部指導者として登録していただいている方のお一人で日本食育協会食育指導士 打田裕美 さんによる食育指導を2年生が受けました。

ポイントは「まごわやさしいこ」㊦め、㊧ま、㊨かめ、㊩さい、㊪かな、㊫いたけ、㊬も、㊭めを食べること。5つの約束「じぶんのうんちをみる」「まいにち まごわやさしいこを食べる」「あさごはんをきちんとたべる」「30回はかむようにする」「むぎちゃ・水・おちゃをのむ」でした。2年生の子どもたちは実践できているのでしょうか。



■ ふれあい交通指導

鈴峰中学校の定期試験に合わせて中学校区の小学校では19日から25日まで、家庭学習の強化にご協力いただき、ありがとうございました。24日(水)に中学校の教員が各小学校区で朝の登校指導を実施しました。そこで、小学校から中学校へ出向き登校指導をしました。この日は、風が強く、鈴西小方面から自転車で登校する生徒は大変そうでした。

今後も中学校区の学校が連携して子どもたちの9年間の学びがよりよくなるように互いに協力し合っていきたいと思っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。



■ 植木の剪定・鉢上げ体験

26日(金)に鈴鹿植木組合から7名の方に来校いただきました。今年度2度目になります。サーチ学習(たてわり班で調べ学習を進める)で植木についての探究的な学習に取り組むなかで、お世話になっています。

この日は、座学ではなく、体験活動でお世話になりました。

トキワマンサクとヒラドツツジを使って、剪定と鉢上げを体験させていただきました。

初めに、剪定と鉢上げのポイントやケガを防ぐための留意点などの説明をしていただき、実際にハサミを使って枝を切って形を整えたり、鉢に土を入れて植えたりの実演もしていただきました。その後、各グループに分かれて自分たちで実際に取り組みました。お互いに声を掛け合って役割分担をしている姿を見ていると、流石に高学年の学習だなあ、と感心させられます。

体験が終わった後は、教室に戻って(この時も6年生は、誰に言われるでもなく組合の方に対してお礼の言葉がけができていました)、今体験したことから学んだこと、そして次につなげるために、さらに調べたいことをまとめていました。

本日のトキワマンサクとヒラドツツジは来年4月フラワーパークで開催される植木祭りで販売されるそうです。

